

函館線 森・石倉間の列車脱線について

(類似条件踏切の緊急点検結果)

2024年11月29日

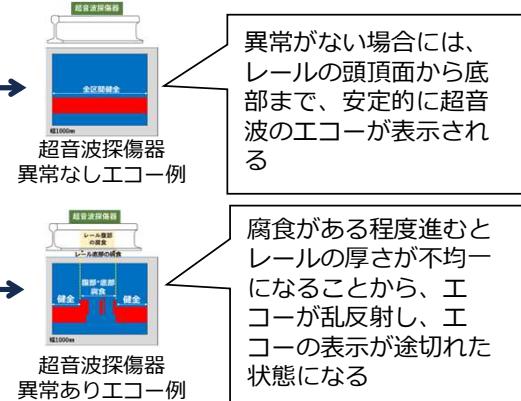


1. 類似条件踏切の緊急点検結果について

- 鷺ノ木道路踏切の類似条件下（海沿い、レール経年30年以上、曲線、レール探傷車の再検査箇所、貨物走行線区）の24踏切について、11月22日までに、再度超音波探傷器による点検を実施し、異常がないことを確認しました。
- そのうち、5踏切（7箇所）については、踏切敷板を外してレールの腐食状況を目視で確認しています。
 - ・ 3踏切（5箇所）は、運転再開前に、目視で確認しています。
 - ・ 2踏切（2箇所）は、その後の点検において、目視で確認しています。
- 各線区での点検の実施状況
 - ① 函館線 鹿部～長万部間 7踏切（10箇所）・・・11/18点検終了・異常なし
 - ② 室蘭線 長万部～苫小牧間 12踏切（14箇所）・・・11/22点検終了・異常なし
※11月20日時点で11踏切としていましたが、12踏切が正当です。
 - ③ 根室線 浦幌～新富士 5踏切（5箇所）・・・11/21点検終了・異常なし



超音波探傷器
(PRD)



・・・今回該当なし



実際に敷設されていた
レールの表面凹凸の状況
(特に異常なし)

2. 今後について

■ 点検実施箇所の拡大

現在、貨物走行線区以外の抽出条件に合致する15踏切について、点検を進めています。

- ① 函館線 余市～小樽間 3踏切（3箇所）
- ② 日高線 苫小牧～鵡川間 1踏切（1箇所）
- ③ 根室線 釧路～根室間 8踏切（8箇所）
- ④ 釧網線 知床斜里～網走間 3踏切（3箇所）

15踏切（15箇所）

※ 11月22日までの点検終了箇所（24踏切）と合わせると、
合計39踏切。

■ 点検方法

超音波探傷器（PRD）によるレール探傷を行い、エコーの途切れの有無を確認する。（変更なし）

■ 今後、実施範囲を拡大し、引き続き超音波探傷器による点検を行います。

(参考) 貨物列車脱線事故に伴う点検区間

